

2015年11月29日(日) 第1回「栄養経営士」資格認定試験実施決定

栄養管理の マネジメントリーダー 誕生への第一歩

昨年春より活動を始めた日本栄養経営実践協会。「栄養経営士」資格認定試験日が決定しましたので、その詳細とスケジュールを紹介します。

試験に向けた 基礎講習も 今春開始

2014年12月19日
(金)、一般社団法人日本栄養経営実践協会の第3回理事会にて、「栄養経営士」の第1回認定試験を15年11月29日(日)に実施することで合意された。なお、合格発表は同年12月21日(月)となる。

栄養経営士とは、栄養管理の成果をもって施設経営に貢献できるマネジメントスキルを有する人材に対し、本協会が認定する資格である。認定にあたっては、本協会が行う認定試験に合格することが必要となるが、その第1回目となる試験の日程が決まったことで、理事会では認定試験に

向けた「栄養経営士」資格認定基礎講習の内容と日程についても踏み込んだ話し合いが行われた。

この基礎講習とは、「栄養経営士」資格認定試験に先立って行われるものであり、基礎講習修了が「栄養経営士」資格認定試験の受験資格となっている。

基礎講習は、①院内・施設内における栄養部門の現状分析、②具体的な目標設定と達成に向けた実践的アプローチ、③部門の業務の質を高めるためのアウトカム分析、④栄養経営士に求められる教育と人事能力、⑤適材適所の組織マネジメント、⑥症例検討の6科目からなる。これらは本協会が定めた「栄養経営士に必要な6つの

基礎講習の内容はマネジメントスキルの習得はもちろんであるが、それ以上に栄養管理のプロフェッショナルとしての使命をしっかりと認識し、その使命の達成に向けて不可欠となるマネジメントの意義を理解することを重視していく。

なお、基礎講習受講者の資格について、本協会代表理事の宮澤靖氏(近森病院臨床栄養部部長)は、「門戸を幅広く開き、さまざまな職種が受講できるようになりたい」と提案した。その理由として宮澤氏は、「基礎講習の場で広く議論し、栄養経営の仲間のネットワークを広げていくものとするため」と説明。この提案は同理事会にて了承された。

基礎講習は、現時点で4月29日(水・祝)【東京】、5月3日(日)【仙台】、5月24日(日)【名古屋】、7月19日(日)【大阪】、7月20日(月・祝)【金沢】、9月23日(水・祝)【福岡】、9月27日(日)【北海道】の7日間での開催を予定している。いずれの講習も宮澤氏が中心と

「栄養経営士」資格認定の流れ(予定)

2015年1月末現在

「栄養経営士」資格認定基礎講習

「栄養経営士」資格認定基礎講習 修了

「栄養経営士」資格認定試験

「栄養経営士」資格認定試験 合格

登録審査

一般社団法人日本栄養経営実践協会「栄養経営士」

「栄養経営士」資格認定試験の概要

●目的

栄養経営に関する基礎知識・倫理／モラルにつき、「栄養経営士」像に鑑み、その習得・到達度を測ることを目的とする。

●出題科目

病棟業務管理・コスト管理・組織マネジメント・人材教育マネジメント・多職種協働コミュニケーション・病態栄養

●受験資格者

管理栄養士(実務経験2年以上)※「栄養経営士」資格認定基礎講習修了者

●受験料／8000円(税込)

※資格認定試験に先立ち、全国で栄養経営の基礎講習を行う予定です。基礎講習の内容については決まり次第、協会ホームページや月刊「ヘルスケアレストラン」誌上にてご案内いたします。

なって講義を行う。

11月29日(日)の第1回「栄養経営士」資格認定試験に至るまでの基礎講習は、宮澤氏を中心とした本協会理事らが中心となって講師を務めるが、12月21日(月)の「栄養経営士」誕生後

は、「栄養経営士」自身も講師を務め、後進の育成にあたっていきけるようなサポートを行っていく。本協会は単に「栄養経営士」を認定するだけでなく、認定後の「栄養経営士」に対する指導者として育成していくことを狙いとしており、そのための教育プログラムについても策定を進めている。

10年後に生き残れる管理栄養士をめざす

「栄養経営士」の

育成プロジェクトが始動

2014年5月、一般社団法人日本栄養経営実践協会が設立しました。

本協会設立の目的は、経営の視点から栄養管理業務をとらえ、

栄養管理の成果をもって施設経営に貢献する「栄養経営士」を育成していくこと。

当協会では本紙を通じて、活動内容や今後の予定についてレポートしていきます。

はじめに本協会の事業目的を紹介します。

管理栄養士免許がないとできない医療行為はない

日本栄養経営実践協会設立のきっかけは、

2013年9月から14年の2月にかけて札幌・仙台・東京で開催された『ヘルスケア・レストラン』創刊20周年記念フォーラムにて講演した宮澤靖氏の言葉だった。曰く、「10年後に果たして病院内に管理栄養士という職業が残っているだろうか？」と。

たとえば医師を例に挙げると、「医師免許」をもっていないとやってはいけない医療行為は多い。看護師免許や薬剤師免許も同様である。しかし、管理栄養士

ほとんどの施設の栄養部門にめざすべきビジョンがない

では、管理栄養士が生き残っていくために必要なものは何か？その問いに対し、宮澤氏が講演のなかで答えたのがマネジメントスキルであった。

近森病院臨床栄養部には多くの病院から研修生や見学希望の管理

栄養士が訪れている。来院した管理栄養士に対し、宮澤氏はいつも「あなたの所属部門のビジョンは何ですか？」と聞くという。しかし、答えられる管理栄養士はほとんどいない。

「つまり、栄養部門のほとんどが何のビジョンもないまま、行き当たりばったりで業務をしていると考えてよいでしょう。理念や理想、戦略がない組織が10年後に生き残っていることができないでしょう。か？ 私は無理だと考えています」(宮澤氏)

理想とする目標を実現するための戦略である。たとえば5年後、入院患者が高齢化し、病態が複雑となるなか

で所属する栄養部門がどうあるべきか？それをビジョンとして掲げ、そのビジョンを実現するために半年後、1年後、2年後、3年後になすべきことは何か？ ビジョン実現に至るまでの道筋を描き、それぞれの段階で課題をクリアしていくための組織力強化や要員教育を実践していく。それがマネジメントである。

「このマネジメントスキルの習得なしに管理栄養士らが生き残っていくことは難しいと考えています」(宮澤氏)

宮澤氏のこの考えに賛同した医師と管理栄養士らによって14年3月7日(金)に発起人会が開かれ、高いマネジメントスキルをもった

管理栄養士の育成に取り組むことに同意。5月16日(金)、宮澤氏を代表理事として、一般社団法人日本栄養経営実践協会を設立した。本協会では高いマネジメントスキルをもった管理栄養士を「栄養経営士」とし、その育成に取り組んでいくことになった。

「日本の管理栄養士に一番欠けているものは『仕事の覚悟』だと思います。病院、福祉施設に勤務し、人の命を

表 栄養経営士に必要な能力

現状分析・評価能力	院内・施設内において所属する栄養部門がどのような位置にあり、病院・施設経営のうえで何を求められているのか？ これを明確に認識できなければならない。
目標設定能力	所属する栄養部門が何をめざすべきなのか？ その目標設定ができなければならない。食材のコスト削減、人件費削減、栄養指導件数増など、目先の収益を目標にして行き当たりばったりな運営をしていると、要員は何をめざして研鑽すべきかがわからず、成長できない。
適材適所の人事能力	人にはそれぞれ性格があり、部門長はその性格を明確に把握し、要員が成長していけるように適所に配置していくべきである。じっくりと傾聴することに適した性格の要員もいれば、高い業務処理能力と瞬時の判断に優れた要員もいる。前者は栄養指導に適しているであろうし、後者はICUなどのスピードを要する場所が適している。要員の適性を考慮した人材配置ができなければ組織を強化することはできない。
人事評価能力	前項の適材適所の人事と併せて、要員の成果やスキル、努力などを適正に評価することが重要である。適正な評価なしに要員のモチベーションを高めることはできない。
アウトカムの評価・分析能力	自分自身や要員、あるいは所属部門が行なった仕事の結果を客観的に評価し、よかった点と悪かった点を認識し、悪かった点についてはその原因をしっかりと分析してプランの見直しをする能力が必要である。この流れを的確に実行できなければ、所属部門の仕事の質を高められない。
病態把握能力・教育	多くの管理栄養士が医療の専門教育を受けていない。したがって、Alb3.5g/dLならば低栄養というように、1つの疾患に対して1つの検査数値で覚えているのが現状である。しかし、実際の患者の多くはさまざまな症状が複雑に絡み合う病態を呈している。管理栄養士はこれを総合的に把握できなければならない。さらにそれを仲間の管理栄養士に対してしっかりと伝えるための教育も不可欠である。

一般社団法人 日本栄養経営実践協会 理事



代表理事
宮澤 靖
社会医療法人
近森会
近森病院
臨床栄養部部长



副代表理事
秋山 和宏
医療法人財団
松園会
東葛クリニック病院
副院長



理事
真壁 昇
関西電力株式会社
関西電力病院
疾患栄養治療センター／
美作大学大学院客員
准教授



理事
山下 茂子
熊本県立大学
環境共生学部非常
勤講師



理事
吉田 貞夫
医療法人真徳会
沖縄メディカル病院
内科部長／
金城大学客員教授



理事
大谷 幸子
宗教法人 在日本南
プレスビテリアンミ
ッション
淀川キリスト教病院
栄養管理課課長



理事
林 諄
株式会社
ヘルスケア総合政策
研究所
代表取締役



監事
古畑 公
和洋女子大学
家政学群健康栄養学
類教授



「栄養経営士」の カリキュラムが決まる

「栄養経営士」育成のカリキュラムについてご紹介します。

人の命をお預かり
するその「意識」を
大切にしていく

「日本の管理栄養士に
一番欠如しているもの
は病院、福祉施設に勤
務し、人の命をお預か
りするという『仕事の
覚悟』であり、本協会
は管理栄養士の意識を
大切にしていきたい」
と語る宮澤靖氏。前頁
では、こうした「覚悟」
をもった管理栄養士を
育成していくために必
要な能力として、

- ①現状分析・評価能力
- ②目標設定能力
- ③適材適所の人事能力
- ④人事評価能力
- ⑤アウトカムの評価・
分析能力
- ⑥病態把握能力・教育
以上の6つを本協会は
挙げていると伝えた。

その後、本協会はこの
6つの能力の習得のた
めの具体的なカリキュ
ラムを策定した。ここ
ではそのカリキュラム
内容について紹介す
る。

病棟業務管理 不要な絶食患者 ゼロをめざす病棟 業務マネジメント

そもそも管理栄養士
は、口からおいしく安
全に食べてもらうとい
う使命をもっている。
しかし、現実には消化
管が動いているにもか
かわらず、延々と静脈
栄養管理下にある術後
患者が散見される。そ
れでは管理栄養士とし
ての使命を全うできな
い。

術後、一刻も早く消
化管の動きや循環
動態などを確認し
たうえで経腸栄養
への移行を提案
し、同時に嚥下機
能評価を行って経
口摂取への移行法

を模索すべきである。
延々と静脈栄養を続け
ていては、治療成績が
上がらず患者のQOL
の向上につながらない
だけでなく、DPC方
式の中で病院経営面
においてもマイナスであ
る。もちろん、管理栄
養士一人ではどうにも
ならない。

本カリキュラムは絶
食患者ゼロに向けて
チームの体制をどう構
築すべきか、そのマネ
ジメントのあり方につ
いて教育していくもの
である。

コスト管理 ビジネスの 実現に向けた コストマネジメント

栄養部門の収益を上
げる。それは質の高い
栄養サポートを提供す
るための組織力強化に
つながる大切なことで
ある。

しかし、収益アップ
をめざすために食材費
や人件費を削減するこ

とが本当に質の高い栄
養サポートの提供につ
ながるだろうか？
食材費のコストカッ
トを行えば当然、患者
へ提供する食事の質が
低下し、患者の食欲は
さらに低下してしま
う。人件費をカットす
れば、目先の収益アッ
プにはつながるかもし
れないが、病棟できめ
細かくリアルタイムで
管理栄養士が栄養サ
ポートしていくことは
難しくなる。さらに収
益増のために栄養指導
の件数をフルマ化する
という話も聞くが、そ
れをやって本当の意味
で栄養部門の収益アッ
プにつながるだろう
か？

少ない人員で栄養指
導の件数というノルマ
をこなすのに精いっぱい
となり、栄養指導の
質そのものが低下して
しまえば、治療成績が
低下し、医師からの栄
養指導のオーダーがな
くなることにもなりか
ねない。
本カリキュラムで
は、そうした目先のコ
スト管理に振り回され
るのではなく、栄養部
門における業務の選択
と集中という視点から

人・物・金・情報をと
らえ、治療成績向上を
見据えたコストマネジ
メントのあり方につい
て啓発していく。

組織マネジメント 患者の命を守るため の組織マネジメント

術後患者に対し早期
に栄養サポートを開始
し、静脈栄養から経腸
栄養、そして経口摂取
へと移行を図り、早期
退院へとつなぐ。さら
に栄養サポートのバト
ンを受け継いだ慢性期
病棟や高齢者施設の管
理栄養士は、在宅復帰
をめざして栄養サポー
トを継続していく。

それはまさに患者の
栄養管理を担う管理栄
養士の使命だが、思い
だけでは使命を全うで
きない。リアルタイム
できめ細かい栄養サ
ポートを病棟で展開可
能な組織をつくらなけ
ればならない。

本カリキュラムで
は、業務の選択と集中、
要員の自立・自助のあ
り方、適材・適所の人
員配置など、目的を達
成するための組織づく
りに欠かせないマネジ
メントスキルについて
学んでいく。

人材教育
マネジメント
自ら考え行動する
人材育成の教育
マネジメント

多くの栄養部門で
は、新人が入職すると
まずは厨房で数年間働
き、その後、栄養指導
を経てベテランの域に
達する頃によろやく病
棟で栄養サポートに従
事する人事を行なって
いる。しかし、それで
本当にその要員はメ
ディカルスタッフとし
て成長できるのだろう
か？

アメリカ栄養士会の
調査によると、プロ
フェッショナルとして
の栄養士の成長は、初
期教育が要であり、こ
こでプロとして体系的
な教育を受けて十分な
経験を積み、患者や多
職種とのコミュニケーションを密に図ってい
くことで、3～5年後
に急成長することがで
きるという。

しかし、初期教育の
段階で体系的な教育を
受けないまま、ルーチ
ン業務のみをこなして
いく状態だと3～5年
後、ルーチン業務をこ
なせるレベルのまま成
長することはできな
い。その段階で専門的
な教育を受けても十分
な成長は期待できず、
両者の差は約15年後
に、格段にひらくとい
う。

い。その段階で専門的
な教育を受けても十分
な成長は期待できず、
両者の差は約15年後
に、格段にひらくとい
う。

本カリキュラムでは
この点に留意して、臨
床現場で働く管理栄養
士にとって必要な教育
のあり方について学習
していく。

多職種協働 コミュニケーション 多職種協働のコミュニ ケーション

病棟業務マネジメン
ト、組織マネジメント、
コスト管理、教育マネ
ジメントなど、すべて
の取り組みにおいて要
となるものがコミュニ
ケーションである。栄
養部門内はもちろん、
患者や多職種、さらに
は急性期病院と回復期
リハビリテーション病
院、老健、特養などと
、栄養サポートの地域連
携においても不可欠と
なるスキルである。本
カリキュラムでは、こ
うしたさまざまな場面
で必要となるコミュニ
ケーションのあり方につ
いて、単なる意思疎
通の意味だけでなく、
栄養部門の取り組みを

周囲へ広げ、地域全体
で栄養サポートに取り
組んでいくためのマネ
ジメントスキルとして
のコミュニケーション
を学んでいく。

病態栄養 栄養経営士のため の病態栄養講座

管理栄養士の多く
は、養成課程において
病名と検査値などの数
字で栄養管理を学んで
いる。

それは一面的な診方
であり、患者を診ると
いうトレーニングを受
けていないことによる。

しかし、栄養サポー
トとは本来、患者の病
態をしっかりと把握し
リスクの発生を先回り
して予想したうえで、
先手を打ってリスクを
低減していくことであ
る。それには病態の把
握が不可欠となる。

本カリキュラムは、
糖尿病や心不全、腎疾
患、呼吸器疾患など、
栄養サポートを行うう
えで避けて通ることの
できない病態について
解説。患者の病態のと
らえ方について習得し
ていく。

（出典「ヘルスケア・レストラン」
2014年7月号／8月号
（日本医療企画）

育成のための今後の展望

「栄養経営士」の周知に向けて『ヘルスケア・レストラン』編集部が特別セミナーを開催

管理栄養士・栄養士のための月刊誌『ヘルスケア・レストラン』(日本医療企画)は「栄養経営士」資格認定試験が決定したことを受けて、「栄養経営士」を

全国に周知するための「ヘルスケア・レストラン特別セミナー」を、4月5日(日)大阪会場を皮切りに全国で順次開催する。

大阪で開催されるセミナーのテーマは、「栄養サポートの実践と経管栄養、咀嚼嚥下に基づく経口アプローチの考え方」。午前の第一部「管理栄養士のためのマネジメントセミナー」では、宮澤靖氏による「患者さんの幸せにつながる栄養サポートを提供できていますか?」(仮題)の講演が行われる。このセミナーは患者の幸せにつながる栄養サポートの実現を目標にしたチーム医療のあり方について、栄養経営の考え方

をもとに解説していく予定だ。

午後の第2部では「Oral Nutritional Supplements シンポジウム」を開催。株式会社大塚製薬工場共催のランチョンセミナー「経管栄養の新潮流(仮題)」(講師・水野英彰氏・目白第二病院副院長)をはじめ、教育セミナー「食べる力をマネジメントするー咀嚼嚥下の基礎と応用ー(仮題)」(講師・松尾浩一郎氏・藤田保健衛生大学医学部歯科教授)のプログラムが予定されている。

この特別セミナーは以後、4月25日(土)名古屋会場、5月2日(土)仙台会場、7月4日(土)東京会場、8月30日(日)福岡会場での開催も予定されている。詳細については日本医療企画のホームページ(<http://www.jmp.co.jp/seminar/enge/>)に掲載されている。

会員種別と会費・会員特典

2015年1月末現在

会員種別	◇対象となるお客様 ◆ポイント	登録料	年会費	特別特典 ※法人会員特典は、法人を通じての手続き分のみ適用となります。	共通特典
法人正会員	◇栄養経営士合格者の能力を活用していきたい法人様 ◆会員となる有資格者の登録料・年会費を法人が負担します。個人で入会するよりも登録料がお得です。栄養経営士資格の受験奨励、社内育成・活用を図ることができます。	3万円	1万円 × 栄養経営士登録人数分	■栄養経営士の追加登録人数の制限なし ■栄養経営士研修受講料・試験受験料割引(20%割引) ■本協会主催セミナーの参加割引 ■各種研究会の参加のご案内 ※参加費用別途 ※送付物は本社等に一括送付	■会員証発行 ■協会発行『月刊栄養経営ニュース(仮)』の購読 ■栄養経営士情報誌の購読 ■協会推薦図書の割引提供(20%割引) ※法人賛助会員は一口につき2名まで利用可
個人正会員	◇栄養経営士の試験に合格、会員として活動していく方 ◆会への参加を通じて、スキルアップや人脈形成を図ることができます。	5,000円	1万円	■協会(各支部含む)主催の情報交換会等へのご招待 ■本協会主催セミナーの参加割引 ■各種研究会の参加のご案内 ※参加費用別途	
法人賛助会員(企業)	◇栄養経営士の理念を理解し、会の活動に賛同いただける企業様 ◆栄養経営士の会員へ自社商品・サービスをアピールする機会を持つことができます。 ◆会への参加を通じて、人脈形成、ネットワーク構築を図ることができます。	無料	10万円(一口) ※一口につき2名まで利用可	■協会(各支部含む)主催の情報交換会等へのご招待 ■本協会主催セミナーの参加割引 ■本協会主催セミナー等でのチラシ・パンフレット配布協力 ■各種研究会の参加のご案内 ※参加費用別途 ■全国大会等に展示設備がある場合、本協会が準備する展示空間の優先案内 ■協会発行物への広告掲載の優待	



栄養経営の一翼を担うエキスパート育成のための

「栄養経営士」テキストシリーズ(全6巻)



- 総監修／宮澤 靖 (近森病院臨床栄養部部長)
- 定価／各巻2,500円＋税
- 体裁／各巻B5判

【第1巻】病棟業務管理

不要な絶食患者ゼロをめざす病棟業務マネジメント
ー栄養部門が経営の一翼を担うー
著者／真壁 昇 関西電力病院疾患栄養治療センター

【第2巻】コスト管理

ビジョンの実現に向けたコストマネジメント
ー業務の選択と集中で患者満足の実現をめざすー
監修／大谷幸子 淀川キリスト教病院栄養管理課課長

【第3巻】組織マネジメント

患者の命を守るための組織マネジメント
ー専門職としての使命を全うできる環境づくりー
監修／宮澤 靖 近森病院臨床栄養部部長

【第4巻】人材教育マネジメント

自ら考え行動する人材育成の教育マネジメント
ー鉄は熱いうちに打たなければならないー
監修／山下茂子 熊本県立大学環境共生学部非常勤講師

【第5巻】多職種協働コミュニケーション

多職種協働のコミュニケーション
ー人と組織、そして地域をつなぐ連携の要ー
監修／秋山和宏 東葛クリニック病院副院長

【第6巻】病態栄養

栄養経営士のための病態栄養講座
ー病態の把握なしにチーム医療に参画はできないー
監修／吉田貞夫 沖縄メディカル病院内科部長

(株)日本医療企画 〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14 神田平成ビル TEL:03-3256-7495

●関東支社 TEL: 03-3256-2885 ●関西支社 TEL: 06-7660-1761 ●九州支社 TEL: 092-418-2828
●北信越支社 TEL: 076-231-7791 ●中部支社 TEL: 052-209-5451 ●北海道支社 TEL: 011-223-5125

Q 日本医療企画

検索

<http://www.jmp.co.jp/>